

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第3話 「三好池の工事」その1

昭和34年、三好池が完成し、愛知用水は昭和36年に通水されました。これにより、水源が確保され、三好町の農業は大きく近代化。企業立地も進みました。今回は、三好町発展の大きな原動力になり、四季折々の豊かな自然を残す三好池の歴史を紹介します。

相次ぐ大干ばつ

昭和15年、19年、22年にこの地方に続けて起こった大干ばつは、農家にとって死活問題になりました。特に15年の干ばつは、田植えの時期に田んぼ一面に亀裂が生じるほどでした。農民は毎日会合を開き、もし田植えができないのであれば、一部の湿田を共同作業して、食料を確保しようということになりました。田植えの準備中の6月27日に大雨が降り、一息しましたが、田んぼの土は固まっており、水も濁らないほどだったようです。そのため、田植えは土の塊と塊の間に苗を挟む程度でした。また19年の干ばつは、7月3日から8月末まで一滴の雨も降らず、田んぼの稲も畑のサツマイモも成長せず、黄ばんでくるほどでした。

愛知用水案の提案

そして昭和23年、愛知県では尾張東部水利調査が大



現在の三好池



昭和32年の三好池（曲り池）

規模に開始されました。このとき木曾の水を尾張東部地方へ引き、飲料水、農業用水、工業用水を供給する愛知用水案が提案されたのです。このころ知多郡では、知多郡農村同志会を作り、愛知用水の建設運動に乗り出しました。昭和24年には、春日井市、半田市、知多郡などの関係町村が主体となり、愛知用水期成同盟会を結成。政府に陳情することになり、三好町もこの事業に同調することになりました。

村長の熱意

昭和27年5月、愛知用水土地改良区が設立。三好町もその区域に入り、三好町の初代町長で当時村長の久野源蔵氏が理事に就任し、次いで常任理事になりました。しかし、計画の大きさに不安を隠せない住民も多く、久野村長は何度も地域に足を運んで相談会を開くなど、愛知用水の必要性を説いて回りました。

昭和29年には、建設資金を融資する世界銀行の調査団が、三好町に視察に訪れました。そして融資も決まり、昭和30年には、衆参両議員が視察調査を実施。この事業が立法化されることになり、待望の愛知用水公団法が国会を通過し、愛知用水公団が生まれました。計画実現に一步一步近づいていくにしたがって、住民の中にも理解者が増え、計画に協力する人も多くなりました。

愛知用水計画の核として

愛知用水計画は、木曾川の水を岐阜県兼山から知多半島の先端まで引く、延長11.2kmにおよぶ壮大なもの。その中で三好町のほか、刈谷市の一部まで配水するため、大貯水池が必要になりました。そこで新屋の曲り池を基盤にして、三好池が作られることになりました。昭和32年4月、三好池の工事は着工の日を迎えました。

(つづく)

おめでとう おたんじょうび 7月

『お気に入りは電車遊び』

乗り物が大好きなてっぺいくん。一番のお気に入りは電車遊び。自分でレールを組み立てて、電車を走らせて遊ぶんだって。パパがお休みの日には、一緒にサッカーをするんだよ。シュートも上手にできるんだ。好き嫌がなく、何でもよく食べるてっぺいくんは「いろいろなことにチャレンジできる子になってね」とお母さん。

かわしま てっぺい
川嶋 哲平くん(三好丘旭)

平成12年7月17日生

父・茂樹さん 母・洋子さん



『お外遊びが大好き』

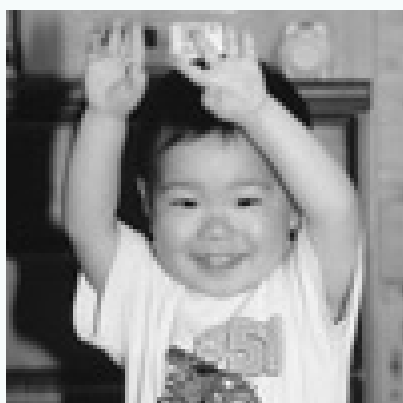
毎日自転車に乗って、ママとお散歩するのが日課というなおくん。お外遊びが大好きで、パパと一緒にボール遊びをしたり、庭で虫捕りをしたりするんだって。チョウチョやトンボもさわられるんだ。ご飯を食べる前に、おししを並べてご飯を運ぶお手伝いをしてくれるなおくんは「健康で素直に育ってくれば」とお父さん。

さかきばら なおき

榊原 直樹くん(三好下)

平成13年7月17日生

父・栄一さん 母・裕美さん



氏名お披露目

【9月のお誕生日コーナー】

▼応募期間 8月1日から5日まで

▼対象 9月生まれで3歳未満の児

▼応募方法 広報情報課へ電話で

☎(32) 83357

広報クイズ

数字を使った問題です。

4個の数字「4」の間に＋、－、×、÷を入れて、①から⑩までの式を完成させてください。

- ① 4444 = 0
- ② 4444 = 1
- ③ 4444 = 2
- ④ 4444 = 3
- ⑤ 4444 = 4
- ⑥ 4444 = 5
- ⑦ 4444 = 6
- ⑧ 4444 = 7
- ⑨ 4444 = 8
- ⑩ 4444 = 9

⑪ 4444 = 10

例 4+4+4+4=16

(44-4)×4=160

【応募方法】 答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢のご意見、ご希望などを書き添えて、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

・はがき：〒470-0295

三好町役場広報情報課（住所不要）

・ファクス：☎(32) 2165

・電子メール：☐kohocho@town.niyoshi.aichi.jp

【締切り】 7月14日(月)必着

【6月号の正解の一例と当選者】

① 123+4-5-67=55② 1+2+3+4+5+6+7+8×9=100 (全34通
中正解19通) 小野田美帆、加藤一枝、加藤朋子、小山公己江、坪井理恵、中林富子、西部建志、水越正人、水谷尚広、山田常雄(敬称略)

【アイデア・企画】 広報で紹介するいいなというアイデアなどありましたら広報情報課へお知らせください。